



さゆり通信

発行：川島さゆり
軽井沢町大字長倉4280-5
TEL・FAX 46-2135
メール s-kawashima@janis.or.jp
2012年4月

＜御挨拶＞昨年4月に皆様の御支援を賜り、町議会に送って頂き1年となります。この間、皆様から多くの御意見、御要望を頂戴し、私の宝物となりました。議会では、女性の視点から「防災対策」を質問して参りました。これからも、大好きな軽井沢町を元気にする為、誠実と真心で働いてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

＜一般質問から＞

23年6月

1、町の防災対策について質問！！

- ①防災無線の基準はどうなっているのか。小学校の防災マップは作成されているのか。
- ②避難所としての学校の安全性と機能は。（緊急時の施設管理者は、窓ガラスの飛散防止対策は。）
- ③備蓄倉庫について（小中学校に備蓄倉庫はあるのか、ポータブルトイレの備蓄は。）
- ④防災公園の設置はできないのか。
- ⑤自主防災アドバイザーを自主防災組織や、学校



松本市防災公園

23年12月

1、女性の視点を生かした防災対策について質問！！

- ①町防災会議に女性の委員の登用はできないか
- ②備蓄品の中にベビー用救援物資、女性専用物品など取り入れられないか。
- ③防災ハンドブックが誰でも解るもので、全住民の方に配布できないか。
- ④避難所運営のシュミレーションができる「避難所運営ゲーム」があるが、社協、消防と連携を取り、小中学校の防災訓練、各区の自主防災組織で取り組めないか。
- ⑤高齢者や、障がい者の方などの「安心、安全」を守る為「かかりつけ医」「薬」「持病」「緊急連絡先」など、万が一の時に役に立つ「救急医療情報キット」があるが、65歳以上の方、要援護者、持病があり不安な方の希望者に無償で配布できないか。

救急医療情報キット



23年9月

1、高齢者の聴覚チェックで認知症予防の充実について質問！！

- ①難聴が認知症を引き起こす原因であり、「閉じこもり」「うつ」「認知症」へと進んでしまう。早期に発見し耳鼻科へ行くことで進行を遅くできるが、町の定期検診に取り入れられないか。

2、胃癌の危険因子であるピロリ菌検査を予防検診にできないかを質問！！

- ①胃癌患者の半分(5万人)が毎年亡くなっており、その原因の多くが「ピロリ菌」の感染であるが、「除菌」と「検診」で胃癌は撲滅できる。このことから、胃癌検診の中に「ピロリ菌検査」(「尿素呼吸試験法」)を導入できないか。
- ②人間ドックのオプションの中に「ピロリ菌検査」を入れ、町ホームページに掲載できないか。

24年3月

1、自分の命を守る防災教育について質問！！

- ①3、11東日本大震災時、釜石市の小中学生が日頃の防災教育を実践し自分の命だけでなく、多くの大人達も助けた素晴らしい事例があった。この事からも防災教育は大変大事な教育である。小学生は「自分を守る防災教育」、中学生は「支援者としての視点からの防災教育」が必要では。
- ②福島県のお子さんが避難先の学校で「放射能がうつる」と風評被害による差別を受けたが、人権的な問題である。副読本に頼らず、小中学校で正しい「放射線教育」はできないか。

2、自殺、うつ病対策について質問！！

- ①町のうつ病の実態、相談体制、啓発活動は。
- ②かかりつけ医の「心の健康対応向上研修」を、医師会に働きかけているか。
- ③「ゲートキーパー」の養成は。
- ④「こころの体温計」を町ホームページに。

2月3日～5日
滋賀県大津市
総合障害者福祉
について勉強して



